

令和3(2021)年度

「幼児期の教育における一体的に育まれる資質・能力とは」  
子供の具体的な遊びや生活の姿から考える  
事例集

資料9

事例集(案)

「思考力・判断力・表現力等の基礎」

「知識及び技能の基礎」

「学びに向かう力・人間性等」



愛知県幼児教育研究協議会・愛知県教育委員会

## ◆ はじめに

今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、子供たちの生活は様々な影響を受け、園や家庭、地域の行事や活動にも制限が設けられる中、保育・教育に携わる皆様は、子供の健康と安全を第一にしながら、乳幼児期にふさわしい生活が展開できるよう、日々、工夫を重ねていらっしゃったことと思います。

平成29年3月、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂され、実施から4年が過ぎようとしています。「環境による教育・保育」「遊びを通して学ぶ」という乳幼児期の特性を踏まえた教育を基本にしつつ、改訂のポイントである「幼児期において育みたい資質・能力」を育むため、その具体的な姿である「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに理解を深め、保育の質の向上を目指していらっしゃることでしょう。

今回、愛知県幼児教育研究協議会では、各園で「幼児期において育みたい資質・能力」が捉えられるよう、実践事例から見えてくる「資質・能力」について具体的に示した事例集を作成しました。生活や遊びの中で見られる子供の何気ない姿や、没頭あるいは葛藤している状況を丁寧に読み取り「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連性を捉えながら、「資質・能力」の三つがどのように絡まりながら一体的に育まれていくのかを明らかにしようとしてきました。

この事例集は、就学を迎える年長児がどのように「モノ」や「コト」に着目して生活をしているか、また、その際、保育者が子供のしていることの価値や育ちをどう読み取るか、様々な事象を通して幼児理解を深め、ふさわしい環境の構成や次の指導へつなぐヒントを見つけ出していただくことを願って作成しました。

保育・教育関係の皆様が「幼児期において育みたい資質・能力」について理解を深める際の、また、幼児教育と小学校教育との接続を考える際の参考資料として本協議会が作成した令和2年度のリーフレット、そして今回の事例集を御活用いただければ幸いです。

令和4年3月

愛知県幼児教育研究協議会



令和3(2021)年度

「幼児期の教育における一体的に育まれる資質・能力とは」

子供の具体的な遊びや生活の姿から考える

事例集

◆ はじめに

○ 幼児期において育みたい資質・能力	.....	1
○ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)	.....	2
○ 幼児教育の基本的な考え方	.....	3
○ 事例の見方	.....	4

○ 実践例と読み取りの参考資料

★＝「小学校関係者からの声」を掲載

事例から読み取れる  
主な「幼児期の終わり  
までに育ってほしい姿」

事例1★ 「よし、今だ！鬼につかまらないように！！」	5歳児	9月	.....	5
～多様な動きを引き出す環境から～	健康な心と体			
事例2 「最後まで、流れた！」	5歳児	8月	.....	7
～あきらめない気持ち～	自立心			
事例3 「旗揚げをする時みたいに紐を使って上に揚げればいいんじゃない？」	5歳児	11月	.....	9
～共通の目的をもって試行錯誤～	協同性			
事例4 「マジックショーをしよう！」	5歳児	1月	.....	11
～葛藤を乗り越えて～	道徳性・規範意識の芽生え			
事例5★ 「あそこ(スクリーン)に映したらいいんじゃない？」	5歳児	7月	.....	13
～タブレットを使って体験を再現～	社会生活との関わり			
事例6★ 「ええっ、これも浮くのか！！」	5歳児	6月	.....	15
～好奇心や探究心を深める～	思考力の芽生え			
事例7 「コン、コンって音がする」	5歳児	5月	.....	17
～様々な気付きを楽しむことから～	自然との関わり・生命尊重			
事例8★ 「カタツムリを連れてきたよ」	5歳児	6月	.....	19
～命・仲間・思いやり～	自然との関わり・生命尊重			
事例9 「次はこれを折ってみよう！」	5歳児	7月	.....	21
～いろいろな形をつくり出す面白さ～	数量や図形、標識や文字などへの関心・感動			
事例10 「私の絵をみんなの塗り絵にしたい！」	5歳児5～7月	.....	23	
～認められることから表す楽しさの広がり～	豊かな感性と表現			
事例11★ 「この船どうやって動かそうか」	5歳児	7月	.....	25
～自分なりのイメージ・表現から～	豊かな感性と表現			

◆ おわりに	.....	27
◆ 愛知県幼児教育研究協議会のあゆみ	.....	28
◆ 令和2・3年度 愛知県幼児教育研究協議会委員・専門部会委員並びに事務局名簿	.....	29



言葉による伝え合い  
は全事例から読み取れます

## ○ 幼児期において育みたい資質・能力

幼児期の教育は、生きる力の基礎を育む重要なものである。この時期は、幼児期の教育の基本を踏まえ、幼児期において育みたい資質・能力を培うことが大切となる。育まれた資質・能力は、その後の学校教育における生活や学習の基盤となる。乳児期から安心・安定した生活が保障され、夢中で遊ぶ幼児期の姿に目を向けると、幼児期において育みたい資質・能力が一体的に育まれていることが見えてくる。

この事例集では、最終学年である5歳児の生活の中で一体的に育まれる資質・能力に視点を当て、具体的な考え方を表している。教育・保育のあり方を共に深く考えていきたい。



資質・能力が育まれている姿は、下のように捉えることができます。

### 幼児期において育みたい資質・能力

(文部科学省「平成28年3月教育課程部会・幼児教育部会資料」を参考にして作成)

#### 「知識及び技能の基礎」

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする

- ・基本的な生活習慣 ・生活に必要な技能の獲得
- ・身体感覚の育成 ・多様な動き
- ・規則性、法則性、関連性等の発見
- ・様々な気付き、発見の喜び
- ・日常生活に必要な言葉の理解
- ・芸術表現のための基礎的な技能 等

#### 「思考力・判断力・表現力等の基礎」

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

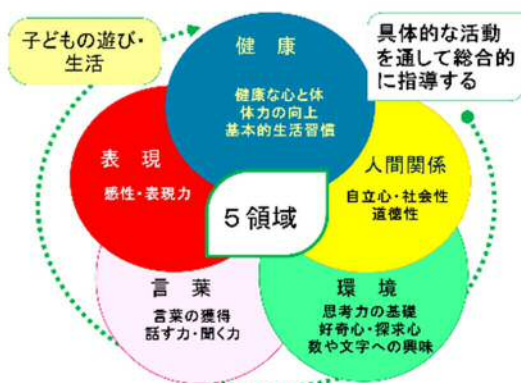
- ・試行錯誤、工夫 ・予想、予測、比較、分類、確認
- ・他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ ・言葉による表現、伝え合い
- ・振り返り、次への見通し
- ・自分なりの表現 ・表現する喜び 等



心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする

- ・安定した情緒 ・興味や関心 ・好奇心、探究心 ・粘り強さ ・自信
- ・葛藤、自分との向き合い、折り合い ・感情や行動のコントロール
- ・思いやり ・受容 ・協力 ・話し合い、目的の共有 ・表す喜び
- ・色、形、音等への美しさや面白さに対する感覚
- ・自然現象や社会現象への関心 等

#### 「学びに向かう力・人間性等」



上の三つの円内に例示した資質・能力は、左の五つの領域の「ねらい及び内容」及び4ページの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から主なものを取り出し、便宜的に分けて記載したものです。

○ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

項目	姿
健康な心と体	園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
言葉による伝え合い	保育者や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

※ この「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、到達目標ではない。あくまでも、園修了時の具体的な姿であり、保育者が指導を行う際に考慮するものである。各項目の語尾に注目すると、どの項目も「ようにする」のではなく「ようになる」という幼児教育ならではの特徴である方向性を示した記述となっている。

○ 幼児教育の基本的な考え方



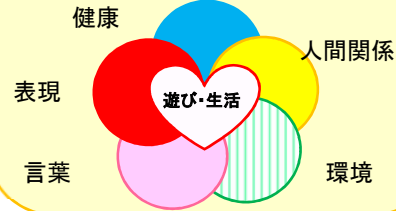
幼児期の教育・保育は、生きる力の基礎を培うために、幼児期において育みたい資質・能力を踏まえて、教育課程に基づく指導計画を作成し、実践を積み重ね、評価し、改善を図ります。この一連の流れの好循環を通して、各園の教育活動の質の向上を図っていきましょう。

幼児教育の基本は、「環境を通して行う教育」



保育者は前日までの幼児の行動の理解と予想を基に指導計画を作成し、ふさわしい環境を構成する。

5領域のねらい・内容



① 計画した**保育を実践**しよう！

⑧ 5領域を参考にして具体的なねらいと内容を明確にし、次の日の**指導計画**を作成する！

指導計画の作成

② **自ら環境に関わり自発的な活動**としての遊びの展開



夢中になって遊ぶ  
遊びに没頭する  
楽しさを追求する



遊びを通しての総合的な指導

⑦ 今日の**振り返りの記録**を基に、育ってほしい姿をイメージして明日の保育を考えよう！

振り返りによる評価と記録

③ 幼児の感じている好奇心、楽しさや戸惑い、感動や気付き等に共感し、思いを推察して**幼児の姿を深く理解**しよう！

⑥ 育みたい**資質・能力の視点**で整理する！

幼児期において育みたい資質・能力

知識及び技能の基礎  
思考力・判断力・表現力等の基礎

学びに向かう力・人間性等

④ この**具体的な保育の実践**を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を参考にして振り返り、読み取ってみよう！

⑤ **育ちにつながる一体的・具体的な姿**から**学びが深まる過程**が見えてくる！

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

## ○ 事例の見方

本事例集は全て5歳児の事例です。

事例○ 「タイトル」～ サブタイトル ～ 5歳児 0月

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

事例から読み取れる10の姿の中から主な一項目を選びました。

……事例の背景となる事柄（記載のない場合もあります）。

下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

- ・着目した子供の姿  
楽しそうな取組  
葛藤する姿  
没頭して遊ぶ姿など

- ・保育者の関わり
- ・環境の構成

などを含め場面を紹介

①A児は・・・

番号付き下線は子供の育ちを読み取る際に保育者が着目したポイントとなる具体的な姿です。

① ……  
・左記番号付き下線のポイントから読み取った「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながる内容を記載しています。  
番号で照らし合わせることによりつながりをわかりやすくしています。

◆三つの資質・能力の視点から捉えると…

「知識及び技能の基礎」

「思考力・判断力・表現力等の基礎」

ここでは資質・能力の視点から子供の育ちについて考えています。3ページの「幼児期において育みたい資質・能力」の図とあわせて御覧ください。

「学びに向かう力・人間性等」

◆一体的に育まれるとは

- 「幼児期に育みたい資質・能力」は個別に育むものではなく遊びを通した総合的な指導の中で、三つが絡み合って育まれていることを色分けして説明しています。

知識及び技能の基礎 思考力・判断力・表現力等の基礎 学びに向かう力・人間性等

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- これまでの育ちのプロセスに着目しています。

小学校以降の学びとのつながりに着目しています。



事例1 「よし、今だ！鬼につかまらないように！！」

5歳児 9月

健康な心と体

～多様な動きを引き出す環境から～

下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

毎日のように園庭で靴取り鬼ごっこを楽しんでいた。鬼にタッチされて靴を取られた子は、トライネットジャングルという

①網のジャングルジムに登り、味方が靴を取り返してくれるまで待機している。

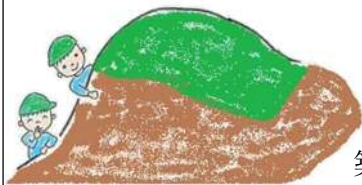


トライネットジャングル  
(靴を取られた人の待機場所)

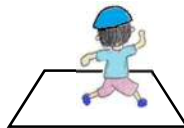


また、②築山や大型総合遊具などの遊具に時折登って鬼ごっこに活用していた。

そこで靴置き場やバリア場の位置を子供たちと一緒に考え、築山の近くで、靴取り鬼ごっこをすることにした。



築山



バリア場

早速、友達同士誘い合って靴取り鬼ごっこが始まった。③捕まったA児は靴を片方脱いで鬼に渡し、ケンケンでトライネットジャングルまで行き、登って綱に座った。④鬼のB児は靴を守ろうと周囲を見回し、鬼のC児はバリア場から靴を取り返そうとする人を警戒していた。時折、互いにジェスチャーや合図を送り、近づこうとする相手の様子を伝え合った。

D児



B児

C児



D児は築山の上からその様子を見て、⑤鬼の動きと視線のすきを狙って築山から駆け下りE児の背中側からかがみながらさっと靴を抜き取った。捕まらないようによけながらA児に靴を投げて、バリア場へ走り込んで止まった。⑥A児は満面の笑みで「ありがとう」と言って靴を履き走り始めた。

①子供たちはトライネットジャングルを、登って様子を見たり、仲間が靴を取り返してくれた時にすぐに降りて鬼ごっこに加わったりするのにちょうどいい遊具と認識している。

【健康な心と体】【自立心】【思考力の芽生え】  
【豊かな感性と表現】

②築山や大型総合遊具も登ると見晴らしがよく、仲間や(鬼役の)友達の動きも察知することができることが分かって活用している。

【健康な心と体】【自立心】【思考力の芽生え】  
【豊かな感性と表現】

友達の動きが把握でき、逃げやすく追いかけやすい距離感で活動量を増し、それぞれの仲間同士で連携して多様な動きを引き出していこう！



保育者の動きかけ

③タッチされたら片方の靴を鬼に渡し、ケンケンでトライネットジャングルへ行き、仲間が取り返してくれるのを待つというルールに従い、行動している。

④B児もC児も鬼の仲間の動きを感じながら自分はどの動くといいのかを考え役割を分担したり、相手の動きを知らせたりしている。

【自立心】【協同性】【言葉による伝え合い】  
【道徳性・規範意識の芽生え】【思考力の芽生え】  
【豊かな感性と表現】

⑤タイミングを計って背後から仲間の靴を取り返し、さらに鬼の動きをかわしてA児に靴を投げてバリア場へ逃げ込むという一連の動きを見事にこなしている。

⑥仲間を信じて待ち、D児の機敏な動きに合わせて、靴をキャッチすることができ、うれしい気持ちを言葉や表情で表している。

【自立心】【協同性】【社会生活との関わり】  
【思考力の芽生え】  
【豊かな感性と表現】



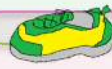
◆三つの資質・能力の視点から捉えると…

「知識及び技能の基礎」

- トライネットジャングルは、靴を取られて待機する場所として、築山や大型総合遊具などは友達の動きが見渡せる場所として適していることに**気づき、活用**している。
- タッチされたら片方の靴を鬼に渡して待機場所で待つ、バリア場や高所ではタッチされないという**ルールを認識し、共通理解**している。
- ケンケン、遊具の登り降り、タイミングを計る、周囲の警戒、機敏に身をかわすなど**身体感覚を生かして多様な動き**をし、遊びを楽しんでいる。

「思考力・判断力・表現力等の基礎」

- 相手の動きを**予想して**相手の靴を取り返す**方法を考えたり**、タイミングを見て、**瞬時に判断**して行動に移したりしている。
- 鬼にタッチされて靴を取られたことから、次は捕まらないように、高所やバリア場をうまく**利用する動きや**、取り返した靴を素早く渡す**方法を工夫**している。
- 相手に動きを悟られないように、ジェスチャーを使って伝えたり、合図を送ったりして**工夫して表現**している。



靴、取ったよー！

- 鬼役の子供たちは、靴置き場にある取った靴を取られないよう周囲を見張ったり、バリア場に逃げ込まれないよう警戒したりするなど、**役割を分担して協力**している。
- 相手の靴を取り返そうとして、鬼に捕まり、靴を取られた友達の気持ちを**思いやり**、自分が取り返してやろうと何度も**粘り強く挑んでいる**。
- 仲間と捕まえる、靴を取り返すなどの**目的を共有**し、うまくいった時は**喜び、自信をもつ**。

「学びに向かう力・人間性等」

◆一体的に育まれるとは

- この靴取り鬼ごっこの中で、子供は体を思う存分動かし、**身体感覚が養われる多様な動きが引き出されてきた**。また、**遊びのルールを認識し友達と共通理解して繰り返し楽しむようになった**。このような姿は、これまで友達の様子を見て気付いたり、周りの状況を見て自分がどのように動くといいのかを考えたりして行動に移し、**友達に認められるうれしさを実感してきた経験があったからだと考える**。だからこそ、夢中になって遊びながら、**心と体が連動して、友達の動きを予想したり瞬時に判断したり、工夫して表現したりする姿にも表れてきた**。今後、こうした姿は、**役割を分担して協力したり、友達を思いやり粘り強く取り組んだりする中で、さらに友達と目的を共有し、喜びや自信をもつことへとつながっていく**であろう。

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 進んで戸外で遊び、十分に体を動かすことの気持ちよさを味わう。ルールのある遊びを楽しむ。

この事例は、小学校学習指導要領 体育の低学年の内容「A 体づくりの運動遊び」や「E ゲーム」にかかわっていきます。

小学校では、子供たちの体力の低下傾向を受け、低中学年の体育授業時数の増加が図られています。また、運動する子供とそうでない子供の二極化傾向もみられます。「靴取り鬼ごっこ」のように子供の心身の発達の特性に合った運動に繰り返し取り組むことで、運動の楽しさや喜びを実感し、運動好きになる根っこを伸ばして行ってほしいです。



小学校関係者からの声

作った船をプールで浮かべて遊ぶことになった。樋や板を使って船が流れる様子を見ているうちに、水が流れる様子に魅力を感じ、いろいろな道具を組み合わせ試してみる姿が続いている。

下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

①A児は一人で黙々と樋に水を流していた。二つの樋は何度試しても外れてしまい、A児は場をそのままにして離れた。



B児、C児が来て誰が使っていたのかを保育者に尋ねる。A児が使っていたことを伝えると、二人はA児に声をかけてから、さらに道具を持って来て繋ぎ始めた。

A児は戻ってきて近くで見えていたが、仲間に加わり②一つ目の樋を斜めに持ち上げてみた。すると、すぐ③B児に「それ、やらないで！」と言われ、A児は手を離れた。

B児が切ったペットボトルを見付け興味を示す。A児も「ああ、ペットボトルか…」と言って、ペットボトルの先を持ち一つ目の樋に組み合わせ始めた。

④C児が水を流すが水の勢いが出ず、A児はペットボトルの先を外し、それを使って最後の所に底を立てようと何度も調節している。



⑤B児、C児はその姿を見て、待っている。A児が納得した様子で顔を上げるとC児が水を流し、最後まで水が流れていた。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

①A児は、穴まで水を流そうと様々なものを組み合わせ樋の高さや角度を何度も調節して試していた。

【健康な心と体】【自立心】【思考力の芽生え】

選べる環境がさらに必要だな。ペットボトル、クリアファイル、洗濯バサミを場に追加し、遊びが続くように見守ろう。

保育者の働きかけ



②A児は自分が上手くいかなかった所の角度を考えて持ち上げ支えてみた。

③A児はB児が自分とは違う考えなのだと判断し、しなければならないことを自覚して行動している。

【自立心】【思考力の芽生え】【協同性】【道徳性・模範意識の芽生え】【言葉による伝え合い】

共通の目的を見付けてお互いを認め合って進めてほしい…。

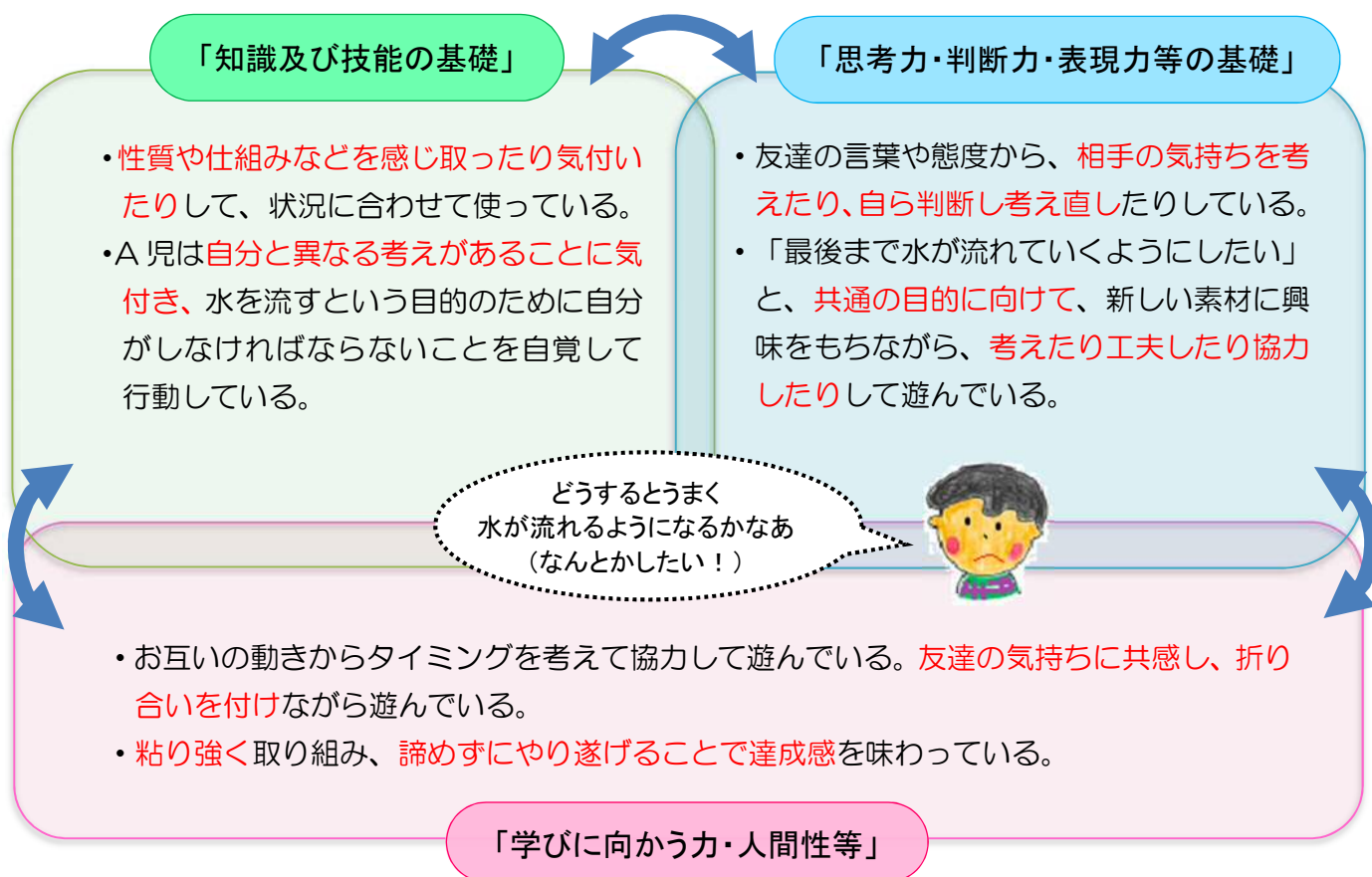
保育者の願い

④A児は諦めずにやり遂げようと何度も試し、工夫することができた。

⑤B児、C児もA児が工夫している様子を見ながら、成功することを願って待つことができた。

【健康な心と体】【自立心】【協同性】【思考力の芽生え】【社会生活との関わり】【豊かな感性と表現】

◆三つの資質・能力の視点から捉えると…



◆一体的に育まれるとは

- A児一人だけでは続かなかった遊びだったが、仲間の行動や考えに触れることで再度工夫したり、新しく考えてみようとしたりする気持ちにつながった。仲間がそれぞれに役割をもちながら「最後まで水を流す」という同じ目的をもち、協力して達成させようとする強い思いがあった。多くの言葉が飛び交うわけではないが、暗黙の了解をとりつけながら夢中になって取り組み、成功させるために方法や調整を繰り返すことで、感覚を身に付けていく。



◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 身の回りのものやいろいろな素材、道具を扱って自由に遊ぶ経験を積み重ねる。この場に必要なものを主体的に選ぶことができるようになる。
- 受容的で応答的な関わりの中で安定感をもって過ごし、保育者や友達に対して信頼感をもって生活する。



事例3 「旗揚げをする時みたいに紐を使って上に揚げてほしいんじゃない？」 5歳児11月

協同性

～共通の目的をもって試行錯誤～

A児、B児、C児が透明なクリアファイルを丸めて10mほどの筒を作り、二階のテラスから園庭まで降ろし、階段を上り下りしてはビー玉転がしを楽しんでいた。しかし、早く転がしたくて廊下や階段を走る姿や何度も一階と二階を往復する大変さを感じている様子が見られた。



下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

保育者が「階段を使わずにビー玉を運ぶ方法はないのかな」とつぶやくと、しばらく考えてA児が「①旗揚げをする時みたいに紐を使って上に揚げてほしいんじゃない？」と言う。B児が「そうか」と納得したように言った。保育者が「紐を使ってどうやって揚げるの？」と聞くと、②A児は「箱にビー玉を入れて、紐を通して引っ張るの」と答えた。

仲間と一緒にいい方法を考え合ってほしいな・・・。



保育者の願い



A児とB児は、牛乳パックを半分に切った。③B児が「先生、ここに紐を通す穴を二つあけてと言うので、保育者は穴をあけた。「どのくらいの長さの紐がいるかな？」と聞くとB児が「測ってみよう。僕が下に行くからAちゃんは上から紐を垂らして」と言った。二階から紐を垂らして一階の地面のところで切った。牛乳パックにビー玉を入れて二階から引き揚げると、途中で傾いてビー玉が全部落ちてしまった。

①A児は、紐を引くと旗が揚がっていくことを当番活動で経験しており、その仕組みを使うことを思い付いた。「旗揚げをする時みたいに」という表現で、自分の考えを伝えている。B児も同じ経験からイメージを共有している。

【自立心】【協同性】【言葉による伝え合い】【思考力の芽生え】【豊かな感性と表現】

②A児の「箱に紐を通して引っ張る」という具体的な方法を聞き、一緒に制作する中で、③B児はA児の考えを理解し、紐の通し方や穴の位置、紐の長さなどを今までの経験や知識から考えて、詳細に友達に伝えている。

【自立心】【協同性】【思考力の芽生え】【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】【言葉による伝え合い】

④B児は「ふたをつけたらどうかな」と言い、制作材料の中からフェルトを取り、つけた。⑤それを見ていたC児が「何度もやっているうちに取れちゃうよ。ペットボトルはどう？」と考えを出した。保育者が「確かに、ふたがしっかり閉まるね」と感心すると、⑥A児とB児もなるほどというようにうなずいた。

④B児はふたをつければビー玉が落ちないと考え付き、身近な材料から選んで作っている。

⑤C児も、B児の考えや作る様子を見てどうなるか予測し、ふたがしっかり閉まるペットボトルを思い付き、提案している。

⑥何とか成功させたいA児とB児は、仲間のC児の新たな提案を取り入れようとしている。

【自立心】【協同性】【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】【豊かな感性と表現】

ペットボトルのふたに紐を通して作り、二階から引き揚げるとビー玉を落ちずに運ぶことができ、三人は大喜びした。

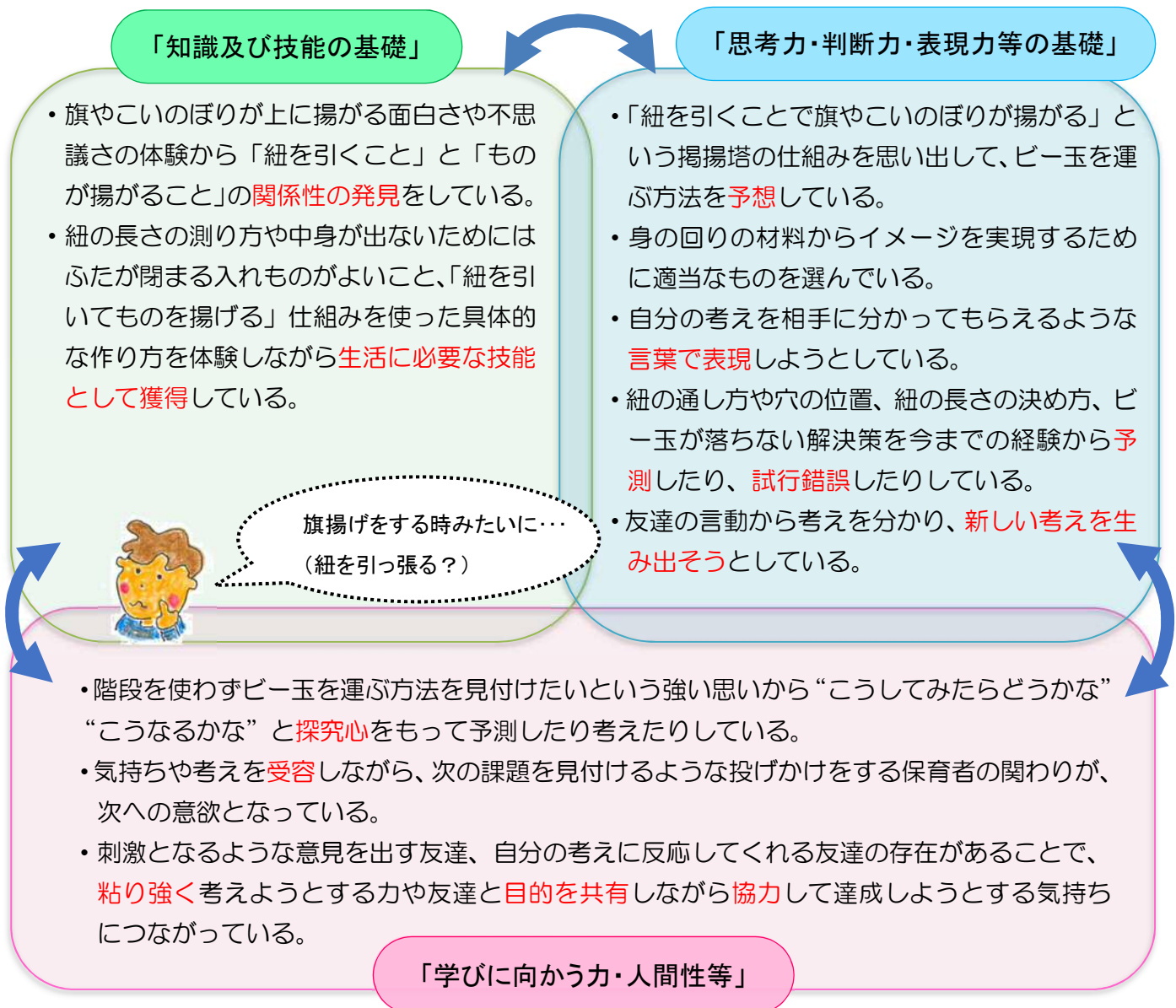


その後、⑦二階からビー玉を転がしては、ペットボトルに入れ「入れたよ、引っ張って」「オッケー」と声をかけ合うことも楽しみながら、繰り返し遊んだ。

⑦三人は、達成感や満足感を味わっている。

【健康な心と体】【自立心】【協同性】【言葉による伝え合い】

◆三つの資質・能力の視点から捉えると…



◆一体的に育まれるとは

- 「紐を引く→ものが揚がる」という体験から得た仕組みを使って、**予想したり試行錯誤したり**友達の考えに触れ**新しい考えを生み出したり**しながら、**階段を使わずにビー玉を運ぶ方法を友達と一緒に見付け出すことができた**。そして、**実現していく過程の中で様々な気付きや生活に必要な技能の獲得**をしている。また、**やり遂げようとする粘り強さや友達と協力しようとする気持ち**が育まれた背景には、**仲間としての友達や保育者の存在、楽しい遊びとして形になっていく手ごたえや、自分たちの考えたことが実現できた喜び**などがある。

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 気に入った遊びに繰り返して取り組む中で、ものの機能や性質に気付く。
- 様々な材料を使ってイメージを膨らませ、自分で作ったものを使って遊ぶことを楽しむ。
- いろいろな遊具や用具を使って、様々な動きを楽しむ。
- 友達と一緒に遊びの場を作り、イメージを出し合いながら遊ぶ。



下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

地域交流によるマジックショーが園の誕生会で披露された。目を輝かせて見ていた①A児は「あっと驚くマジックをしたい」とクラスの友達に提案。数人の仲間と相談を始めた。

A児は「驚くと言えば、びっくり箱！花火が出てきたら驚くよ」と言った。周りの子たちが②「花火は難しいんじゃない？」「作った折り紙が出てきて空中に浮かぶようにしたら？」などの意見を出し、「いいねえ」と、③A児も賛成して考えがまとまる。また、異年齢児を招いて披露することも決めた。

マジックショーの日が決まり、その日が近づいてきた。

「マジックを見た子が本当に驚くのか、クラスの子に見てもらう？」と保育者が提案すると、A児は「そうだね」と言った。A児たちは折り紙を使ってクワガタや紙飛行機などを皆の前で作り、びっくり箱に入れた。そして、あらかじめ仕掛けておいた紐を、「1、2、3！」と声をかけて引いた。

出てきた折り紙に付けられていたのは赤色の紐だったため、空中に浮かんでいるようには見えなかった。しかし④見ていた子たちはそのことを言わなかった。そんな中、⑤B児は「全然マジックじゃないじゃん！」と言った。見ていた他の子たちは驚いた表情でB児をパッと見た。「なんでそんなこと言うんだ！」とA児は激しく怒った。

様子を見ていた保育者がB児に「どうしてそう言ったの？」と尋ねた。A児に責められた⑥B児は涙を浮かべながら「だって紐がバレバレだから驚かん。箱からガサガサって音がしたし…」と答えた。



見ていた⑦C児が「透明の糸にすれば？音も出ない方がばれない」と言った。⑧A児は黙って聞いていた。保育者に「どうする？」と聞かれるとA児は「やる」と答えた。

次の日、A児たちは釣り糸を見付け、急いで準備し直した。



数日後のマジックショーでは多くの拍手をもらうことができた。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

- ①A児はマジックを見て影響を受けた。
  - ②周りの子たちは自分たちで実現できそうなことを今までの経験から考え、提案している。
  - ③友達の考えを受け入れて、協力している。
- 【自立心】【協同性】【社会生活とのかかわり】**  
**【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】**  
**【豊かな感性と表現】**



保育者の働きかけ

本物のマジックのように驚きの声があがるには、さらに工夫が必要…。お客さんの反応を感じられるように、リハーサルの提案をしてみよう。

- ④見ていた子たちは、A児たちが毎日一生懸命に準備をしてきた姿を見ているので、マジックを見ても驚かないことが言えない。その場の雰囲気を壊したり、友達との関係性を悪くしたりすることを避けたいとも考えている。
- ⑤驚くマジックかどうかについて考える機会なので、B児は感想をありのまま伝えている。

**【道徳性・規範意識の芽生え】**  
**【言葉による伝え合い】**



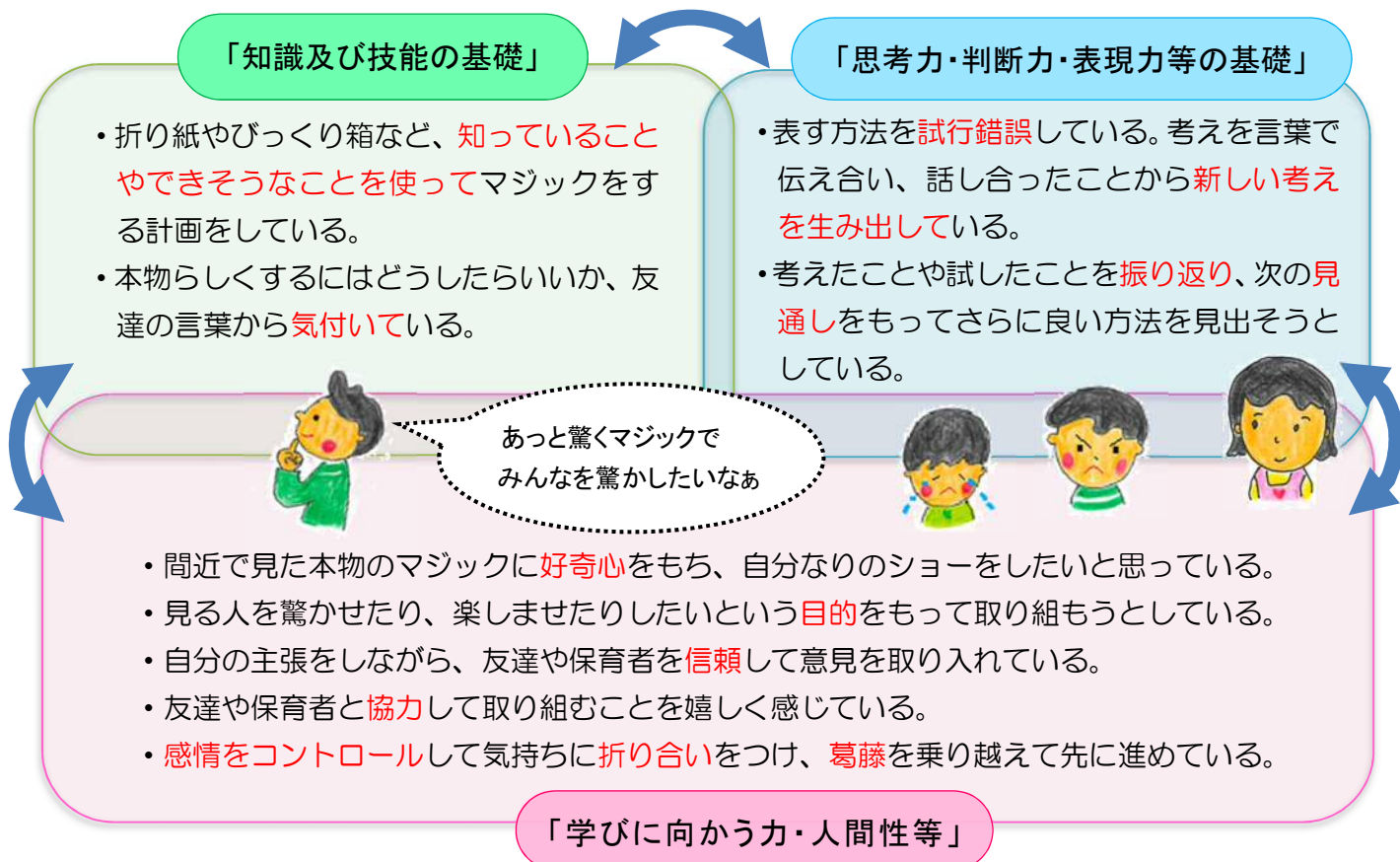
B児の意見がA児の心に届くように仲立ちをしてみよう。

保育者の働きかけ

- ⑥保育者の問いかけにより、B児がマジックに対する意見を伝えている。
- ⑦話せる雰囲気になったことを察し、C児もマジックの改善法を提案している。
- ⑧A児は、B児とC児の話聞き、自分たちのマジックを振り返っている。友達の意見に納得し、やり直そうと気持ちを固めている。

**【自立心】【協同性】【思考力の芽生え】**  
**【道徳性・規範意識の芽生え】**  
**【言葉による伝え合い】【豊かな感性と表現】**

◆三つの資質・能力の視点から捉えると…（A児を中心に）



◆一体的に育まれるとは


- A児は「あっと驚くマジックがしたい」と思い、**気持ちに折り合いをつけて自分とは違う意見であっても受け入れ、協力し合ったりリハーサルに臨んでいた**。また、**友達なのに否定をされるという複雑な感情体験や、言葉では表しきれない、心の中での葛藤をするなど貴重な経験をした**。そして、様々な考えの友達と関わる中で、**本物らしいマジックをするための方法に気づき、準備のやり直しをして当日の発表に向けて努力している**。**やる気があってもうまくいくことばかりではなかったが、仲間と一緒に成功させたいという思いが強くなったからこそ、認められなかったマジックを振り返り、先に進もうとする意欲が育まれていった**と考える。

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 行事などを通して、地域の人々や様々な人と関わり、親しみをもつ。
- 生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する。
- 遊びや行事の中で、身に着けるものや使うものを作り、使って遊ぶ。
- 友達と一緒に遊びの場を作り、イメージを出し合いながら遊ぶ。
- 友達の気持ちに共感したり、相手の立場に立って行動したりする。



下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

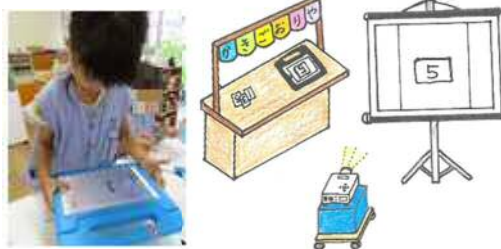
キッチンペーパー、水性ペン、霧吹きを使って  “かき氷”作りが始まった。A児、B児、C児は「かき氷屋さんをしよう」と準備を始めた。①机にアクリル板や消毒容器を設置し、床には並ぶ間隔の目印も付けた。

かき氷は注文後に作るようになったので、できたことをお客さんにどう知らせたらよいかを保育者が投げかけた。

A児が②「前にお店で注文したら番号カードをもらったよ。番号を呼ばれたら、取りに行ったよ」と答えた。保育者が「でも大声で番号を言うのはどうかな」と言うと「コロナだからやめた方がいいかな」と言った。するとB児が「テーブルの上のボタンが鳴ったら取りに行ったよ」と言った。「でも音が鳴るボタンがないよ」と言うC児の言葉にしばらく沈黙が続いた。

A児が思い出したように「番号がテレビに映って取りに行ったことがあった」と言った。するとB児が「じゃあ、あそこに映したらいいんじゃない？」と保育室に常設のスクリーンを指さした。保育者も「これならよく見えるね」と言うと③いろいろなアイデアを考え出した三人は笑顔でうなずいた。

カードを作りタブレットで撮影し、スクリーンに映るようにした。



B児が「熱を測る機械もいるよね」と④空き箱とケント紙で検温モニターを作ったが、周りの子供には分かりづらく、B児も困った表情になった。そこで保育者が「こんな方法はどうかな」とタブレットに顔の輪郭を描いた透明フィルムを貼り画面に顔を当てはめて体温測定する真似のできる方法を提案した。⑤三人は気に入り、何度も自分たちの顔を当てはめて映して楽しんだ後、⑥年中組の子供の顔が映るくらいの高さを予想して、入り口に設置した。

その後⑦三人は年中組を呼びに行き、張り切って案内した。日頃控えめなC児も「何味にしますか」「1番です。番号が出たら取りにきてください」とはっきりした口調で客にカードを渡し、A児とB児は注文を受けたかき氷を作って渡すことを楽しんでいた。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

①コロナ禍での生活体験から、健康管理を意識し、安心安全な生活習慣を遊びにも取り入れようとしている。

【健康な心と体】【自立心】【協同性】【道徳性・規範意識の芽生え】【社会生活との関わり】

お客さんへの対応方法についてじっくり考えてほしいな…。



保育者の願い

②保育者のつぶやきから、自分の意見や思い出したことを伝えはじめている。

【自立心】【協同性】【思考力の芽生え】

【言葉による伝え合い】

③みんなで考えて良い方法が見付き、うれしさを共感し合っている。

【自立心】【協同性】

④B児は、お店に必要なものを思い付き、自分なりに作っている。

【自立心】【豊かな感性と表現】

⑤保育者のアイデアからタブレットで本物に近いものができると驚き、自分で繰り返し体験し、実現できた喜びを感じている。

【思考力の芽生え】【豊かな感性と表現】

⑥今までタブレットを使った経験から、自分たちで操作してスクリーンに映るようにしたり、年下児の身長を予想して検温モニターを設置したりしている。

【自立心】【協同性】【社会生活との関わり】

【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

⑦開店できたことを喜び、積極的に役になって遊び、楽しさを味わっている。

【健康な心と体】【自立心】【協同性】【言葉による伝え合い】【豊かな感性と表現】



◆三つの資質・能力の視点から捉えると…

「知識及び技能の基礎」

- お店の準備をしていく中で、実現のために必要なものやことがあるという**様々な気付き**をしている。
- タブレットで遊んできた体験から、**生活に必要な技能として扱い方を知り**、自分たちで操作し必要などころに使うとしている。
- タブレットを使った検温モニターのアイデア（保育者の提案）を見て、新たな使い方を知り、**発見の喜び**を味わっている。



熱を測る本物の器械みたいだね…。

「思考力・判断力・表現力等の基礎」

- 生活体験から遊びに必要なものを考え、実現のために自分なりに**工夫**している。
- 見たり体験したりしたことを**振り返り**、経験から方法を見付け出そうとしている。
- 思い付いたことを**言葉で表現**し、友達や保育者と考えを**伝え合う**中で、**新しい考えを生み出し**ている。

- コロナ禍での生活様式を含め**社会現象への関心**をもち『かき氷屋をより本物のお店らしくしたい』『お客さんにかき氷ができたことを知らせる方法はどうか』など考え合っている。
- 「かき氷屋さんをしよう」と**目的を共有**し、開店に向けて準備するため共に**話し合い**、**協力**してくれる友達や保育者の存在をうれしく、頼もしく感じている。

「学びに向かう力・人間性等」

◆一体的に育まれるとは

- 『お店屋さんをしよう』『本物らしくしたい』と**社会生活への関心や共通の目的**をもって友達と**話し合いながら遊んでいる**。また、遊びに必要なものを工夫して作ったり、今までの体験を振り返って解決に向けて考えたり、友達と考えを伝え合ったりして、うれしさを共感している。そして、**様々な気付き**をしたりタブレットの操作や新たな使い方を知ったりしながら、**納得のいくお店にすることができ**、**友達とともに表現する喜び**を味わっている。

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 生活に関係の深い情報に興味や関心をもつ。友達と一緒に、工夫したり協力したりして遊ぶ。

この事例は小学校学習指導要領 生活科の内容（6）と図画工作の内容「A 表現」につながります。

「かき氷屋さん」などのお店屋さんごっこは、今までの自分たちの経験をもとに再現していく活動になります。よりリアルを追究していくことで、観察眼がさらに育ちます。また、先生や友達と関わりながら制作していくことで、身近な遊びの面白さに気付き、発想や構想の能力、創造的な技能が育っていきます。自分の感覚や気持ちを大切にしながら友達と作っていく楽しさは、新たな発想や工夫する力を育てていきます。「比べる」「繰り返す」「試す」活動をたくさんしてほしいです。



子供たちはたらいに水を張り、水遊びのおもちゃを出して遊んでいた。

A児が「先生、不思議…。ヒトデは沈むのに水鉄砲は浮いている。」

A児の気付きから、他のおもちゃはどうなるのか周りの子も関心をもち始めた。



下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な声

A児：① スコップ(プラ製)は、浮くかな？浮いた。じゃあ、これは(金属製のふるい)？

B児：② 大きいから沈んじゃうと思うなあ。

A児：おっ！なんかゆっくり沈んだね。葉っぱはどうか。

③ 小さいから浮かぶと思う。ほら、思ったとおり。

C児：このおぼん(プラ製)は？

A児：大きいもん、沈むよ。えっ、浮かぶの?!奇跡!!④ こうやって(おぼんを)手で押しても、また浮いてくる。

B児：じゃあ、石は？(水に入れる)石は、沈んだ。

C児：バケツ(プラ製)は、浮くかな、沈むかな？

A児：バケツは沈むと思うよ。大きいからね。⑤ ええっ、これも浮くのか?!すげえ!!石を入れたら、沈むかな？(バケツの中に小石を入れる)あれ？沈まないなあ。

C児：⑥ おもちゃとか入れて、もっと重くしたら沈むかも。バケツにプラ製のおもちゃを入れてみる子供たち。



C児：沈まない、何でだろう？(首を傾げる仕草をする)

A児：新聞紙は浮くだろうな。⑦ だって、軽いから。ほらね、浮いた。あれ?!浮いていたのにだんだん沈んでいく。

D児：新聞紙はさ、⑧ 水に濡れるとだんだん弱くなるじゃん。だから、水より弱くなって沈むんじゃない。

A児：おぼんに(新聞紙)のせたら沈むかな。おっ、浮くのか。⑨ さっき、沈んだ石をのせても浮いてる。不思議!!。



片付けの時間になった。A児が「明日はさ、石をいっぱい、バケツに入れてやってみよう！」と、友達に言った。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

①A児は、わくわくした気持ちで、試そうとしている。B児は、その様子を興味深く見ており②この大きさだと沈むと予想している。B児の言葉を聞いて、A児は試す意欲がさらに高まった。

【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】

探究心を深めてほしいな。ここは子供たちに任せて見守ろう…。



保育者の願い

③A児は「葉っぱは、小さいから浮かぶ」の予想が当たり満足。

④沈めようと手で押しても浮いてくることに不思議だという気持ちが膨らむ。

【思考力の芽生え】【協同性】

⑤バケツが沈まなかったのに不思議に思っている。⑥C児が重いという言葉を使う。

⑦A児は、「重い」に対して反対語「軽い」を知っていた。言葉を通して考えあっている。

【言葉による伝え合い】【思考力の芽生え】

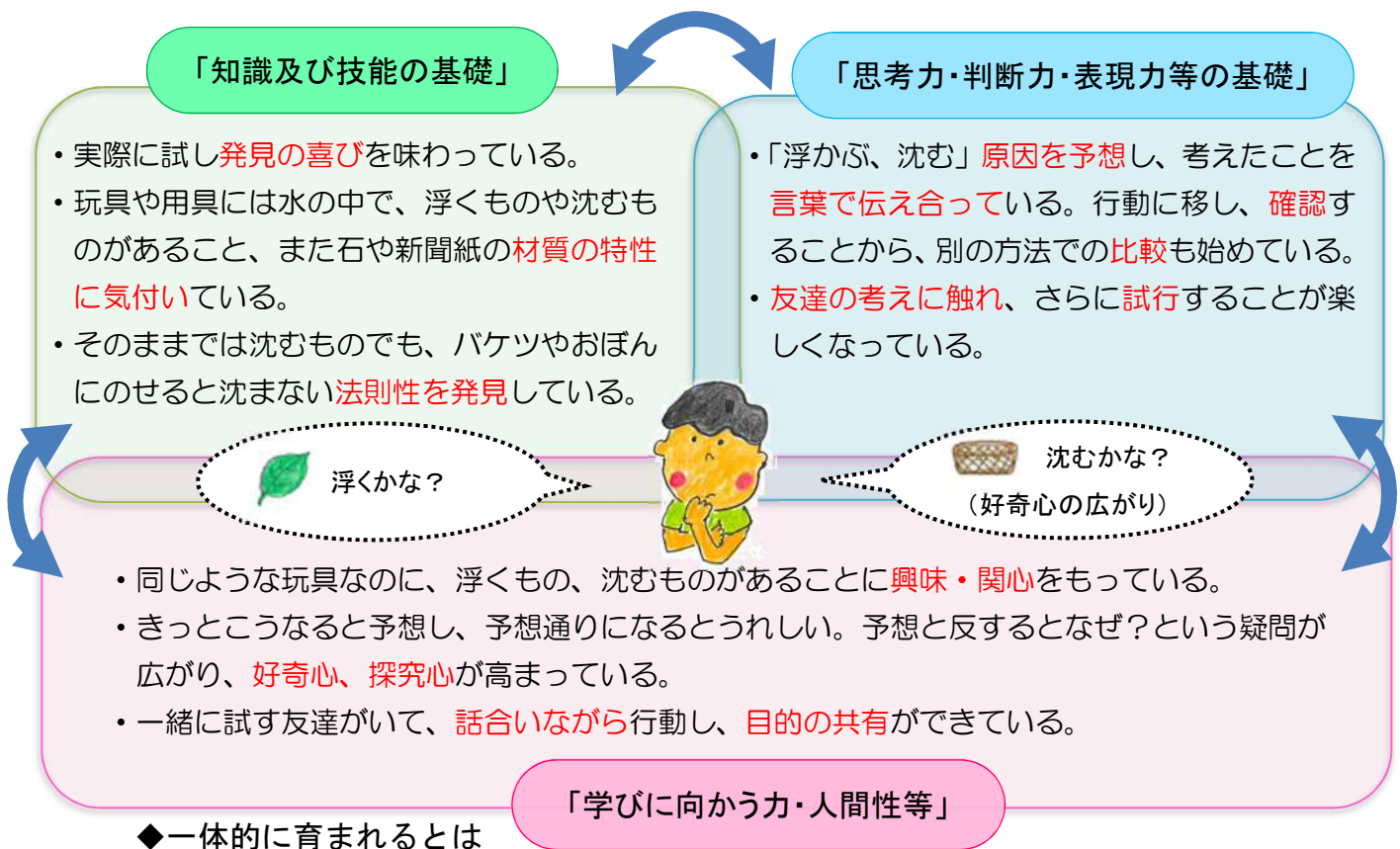
⑧濡れると破れる新聞紙の特性を水鉄砲の的あて遊びの経験から知っていた。破れることを弱くなるから沈む、という自分なりの表現で考えを述べ、友達と共通理解を図っている。

【言葉による伝え合い】【思考力の芽生え】

⑨自分の予想と反し、不思議さが膨らむ。

【思考力の芽生え】【自立心】

◆三つの資質・能力の視点から捉えると…



- 「不思議」「なんで？」「どうして？」「こっちは？」という事象への強い関心から好奇心、探究心が膨らみ遊びが始まっている。その中では自分の経験から「きつこうなるだろう」と次への見通しをもって試行錯誤しながら、結果を予想し、友達の考えに触れ、確認しながら取り組んでいる。やってみる中で、予想外の結果を見ることが楽しくなって「これをこうすると、こうなる」という気付きや新たな発見が様々にあり、ものの大きさ、材質、重さ、状態の変化などに関する知識が増えていった。

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 自分の思いを伝えながら好きな遊びを十分に楽しむ。いろいろな素材に触れ、感触を楽しむ。

この事例から読み取れる「幼児期の思考力の芽生え」の場面として、子供たちは普段から面白そうなことを繰り返しながら「〇〇したい」「△△できるかな」などつつぶやきながら遊んでいます。そして、試行錯誤を繰り返すことで、いろいろな疑問や気付きが生まれ、さらに遊びが深まってくると「さっき〇〇になったから、次は△△になるんじゃないかな」という見通しをもつようになります。また、これらの遊びは一人ではなく、友達と言葉を交わしながらしていることが多く、さらに深い学びへつながっていくと思います。

幼児期のこれらの経験は、小学校生活科の「おもちゃ作り」の学習の中で「遠くに飛ばしたい」「速く走らせたい」「かっこよく転がしたい」などの「個々の思いや願いを実現する活動」に生かされるでしょう。さらに、三年生からの理科の学習における「きつこうなるだろう」という実験結果を予想する学習につながっていきます。実験結果から「やっぱりそうだった」「なぜ、こうなったんだろう」という思考の活動では、試行錯誤を繰り返す遊びを経験している子供ほど、柔軟な考え方ができると思います。



朝から雨が降る日、二階のテラスの軒下にバケツや空き容器を置いて、雨水が溜まる様子を見ていた。子供たちは、保育室にあるバケツや、廃材コーナーの空き缶、空き容器を持つと、傘を差して一階の職員室前のテラスに来た。

下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿



A児は、軒先から雨粒の落ちる様子を見て「見て！めっちゃ、降っている！」と言い、軒先を見渡した。①一箇所に目を止め「ここに置くと、雨がたくさん落ちるよ！」とうれしそうに言い、落ちてくる雨粒を目で追いながら、持ってきたバケツを置いた。しばらくの間、バケツを覗き込んでいたが、わずかに首を傾げると、置いたバケツを右に少しずらして、再び覗き込んだ。



バケツに落ちる雨粒をしばらく見ていたA児が「めっちゃ、こんなに、もう溜まった！」とバケツを指さして保育者に言った。保育者がバケツを覗き込み、「本当だ！わあ、すごく溜まったね」と言うと、A児は②「あんな時間だけで、何でこんなにも溜まったんだろう？」とつぶやいた。

保育者が「どうしてかなあ」と応えると、A児が、「わかった！この下は、この（雨の）降りが（他の場所より）もっと速かったんだ！」「みんな、全部ここに置いて！全部溜まったら大量になるよ！溜まったら畑の野菜にあげようよ」と言うと、周りの子はA児の置いたバケツの近くに様々な容器を並べ始めた。

A児が、③空き缶とバケツを順に指差し「コン、コンって音がする。こっちはポチャン、ポチャンだ！」と言った。

保育者が「いろいろな音がするね」と言うと、④周りの子も「これ、ピションだ！」「カン、カンって行ってない？」「ポツン、ポツンって聞こえる」と言い、顔を見合わせ笑顔になった。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

①A児は、どこにバケツを置くと雨を多く溜めることができるか、雨粒の落ちる様子を見て予測し、大量に雨粒が落ちる場所を見つけたうれしさから、雨が多く落ちる場所を友達に知らせようとしている。

【自立心】【思考力の芽生え】【自然との関わり・生命尊重】

②A児は、バケツに溜まった水と時間に関連させながら、予想以上に溜まったことに、驚きや不思議さを感じている。疑問を言葉にしながらかえを整理し、雨の降り方と軒先から落ちる雨粒の量とのつながりに気付いている。

【思考力の芽生え】【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】【言葉による伝え合い】

雨との心を揺さぶる出会いの中で、気付いたことや、感じたことを様々に表現しようとする姿を認めていこう。



保育者の働きかけ

③A児は、雨粒が落ちた時に生じる音に興味をもち、容器の大きさや、材質による音の違いに気付いている。耳にした音に心を動かし気付いたり感じたりしたことを、「コン、コン」「ポチャン」と自分なりに表現して伝えようとしている。

④周りの子もA児の発した言葉に面白さを感じて、思い思いに音を表現している。

【自立心】【協同性】【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】【豊かな感性と表現】

◆三つの資質・能力の視点から捉えると…（A児を中心に）

「知識及び技能の基礎」

- 雨が横なぐりに降る様子や雨音の大きさから、大量に溜められると**予測**し、雨の降り方と、雨水の溜まる量や速さを、**関連させて**考えている。
- 水の量で音が変わることや、容器の違いで、音が異なって聞こえることを**発見**している。

「思考力・判断力・表現力等の基礎」

- 雨の落ちる場所やバケツを置く場所によって、雨水の溜まり方が違うのではないかと**予測**し、**場所を探したり、容器を置く所を移しながら試したり**している。
- 雨音に心を動かし、**自分なりに表現**して保育者や友達に**伝えている**。

全部溜まったら  
大量になるよ！



- 激しく降る雨水をどうにかして**バケツに溜めたい**と思っている。
- みんなの雨水を集めると大量になるのではないかと**予測**し、**試してみたく**なる。
- 予測が当たった**うれしさ**、**量や音の気付き**を保育者や友達に**受け止めてもらい**、うれしく感じている。

「学びに向かう力・人間性等」

◆一体的に育まれるとは

- 激しく雨が降り続ける状況との出会いが、自然現象への関心や雨水を溜めることへの好奇心につながった。A児の発見や気付きを受け入れたり、反応してくれる友達や保育者がいたりしたことも、**夢中で雨水を溜める姿や、溜める中での気付き、驚き、発見など**につながっている。また、どこに何を置くと雨水が多く溜められるか、雨粒の落ちる量の違いや、容器の材質による雨音の違いなど、**様々なことに気付いている**。そして、**大量に溜めたいという強い思いから二階テラスの場所より多く雨粒が落ちる場所はないか、園内の他の場所も見付けよう**としていた。

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 園庭の虫や草花など、身近な自然に触れて楽しんだり、身近な自然の変化に気付いたりする。
- 砂や泥、水などの自然物に触れて感触を楽しみながら遊ぶ。
- 遊びや友達との関わりの中で、自分の思いを動きや言葉で表していく。
- いろいろな材料や素材に触れる中で、その特質に興味や関心をもつ。
- 楽器や自然の中での音など自由に鳴らしたり、音色を楽しんだりする。



「先生、カタツムリがいたよ」とA児が登園途中の道端でカタツムリを捕まえてきた。次の日、B児とC児も家の庭で見つけたカタツムリを「連れてきたよ」とうれしそうに持ってきた。カタツムリは一つのケースに入れて飼育することになった。



下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

①A児が「家族みたいだね。名前を付けようよ」と言うとB児が「いいね、それ」と答えた。『たいこさん』『めすかちゃん』と決め②「め、書ける？」と確認し合いながらテープに書き、飼育ケースに貼り付けた。

飼育しているうちに③食べ物でウンチの色が変わることに気づき、A児が「キュウリを食べたらキュ〜リウンチ♪」と歌い始めた。B児とC児がそれを聞いて笑い、同じように歌い出した。保育者がそれぞれのウンチを写真に撮り『ニンジン食べたならニンジンウンチ!』と書き込みを加えて貼り出すと、保護者も一緒に見て、くちずさんでいた。

さらに関心が継続するようにと、保育者は飼育ケースの横に図鑑絵本を置いた。④子供たちはカタツムリの綱渡りや、横に数本つなげた鉛筆の先に捕まるカタツムリの絵に関心を示し、A児が「面白そう! やってみたい」と言った。A児が「鉛筆持ってきて!」と言えば、B児が「どれくらい?」などと確認し⑤必要なことを言葉で伝え合いながらC児、D児、E児も手伝って準備ができるとA児がカタツムリを鉛筆の先に這わせた。皆、尖った芯を本当に渡っていけるのかと息を殺すように動きに注目した。カタツムリが鉛筆の芯にまわりつく様子を見てA児が⑥「動いたー。大成功!」と叫んだ。



それからもA児たちは保育室の片隅にタフロンテープや麻紐を張り巡らし「カタツムリサーカスだ!」と言ってカタツムリを這わせた。ところが一匹のカタツムリが綱渡りの途中で床に落下し殻が欠けた。⑦A児が「大変! 病院に連れて行かなきゃ」と慌てて飼育ケースにそっと入れると、B児は『けがします』と紙に書き貼り付けた。

次の日、D児が卵の殻を持ってきて飼育ケースに入れ「これで安心だね」とA児たちと微笑み合った。殻は一週間後うっすらと膜が張り再生した。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

- ①友達のカタツムリも名前を付けて「家族」のようだと捉え、親しみを感している。
- ②生活に必要な文字を、互いに確認し合い友達と共に仕上げている。
- ③キュウリ、ニンジン、新聞紙など食べものを試し、気付いたことを友達や家族に伝え、楽しく飼育している。

【思考力の芽生え】【自然との関わり・生命尊重】【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】【言葉による伝え合い】【豊かな感性と表現】【社会生活とのかかわり】



自分で調べ、いろいろなことを試し、考えてほしい。主体性が育つ機会を作りたい。



保育者の願い

- ④A児は図鑑絵本に関心を示し、「やりたい」気持ちをもって遊びを進めている。
- ⑤友達も面白さに共感し、役割を分担し、言葉で確認しながら鉛筆をつなげている。
- ⑥共に達成感を味わっている。

【協同性】【思考力の芽生え】【自然との関わり・生命尊重】【言葉による伝え合い】

- ⑦予想外の事故が起きるが、自分なりに考え対応している。他児はA児に共感し、次に必要なこと、自分にできることを考えて行動している。カタツムリへの愛情が芽生え、大切にしようという気持ちが表れている。

【協同性】【自然との関わり・生命尊重】【言葉による伝え合い】【豊かな感性と表現】

◆三つの資質・能力の視点から捉えると…

「知識及び技能の基礎」

- 今までの経験から、カタツムリの捕まえやすさや触れやすさを理解している。
- カタツムリが鉛筆の先を這うことを知り、試してわかる喜びを感じている。
- けがをしたら病院に行くことや卵の殻があるとよいことなど自分の生活体験を生かそうとしている。
- 遊びに必要な用具や素材を取り入れようとしている。

「思考力・判断力・表現力等の基礎」

- カタツムリの食べるエサとウンチの因果関係に気付き、興味をもって試している。
- 試して分かったことを次の遊びに生かし、つなげている。
- カタツムリが落下した時、自分の生活体験から対応の方法を考えている。
- 考えや思いを言葉や行動、表情に表している。



たいこさんと  
めすかちゃん

- カタツムリを家族に見立て、友達と一緒に飼うことを楽しみにしている。
- カタツムリに対して愛情をもち、共に生活をしている。
- 「本当にこうなるのかな？」と思い、試してみたいくなる。関心を寄せている。
- 自分のできることを考え、役割分担をして協力している。

「学びに向かう力・人間性等」

◆一体的に育まれるとは

- 図鑑絵本という、興味ある環境に心を動かされ、次々に試してわかる喜びや楽しさを友達と共感している。また、エサとウンチの関係を面白がって試したり、カタツムリが落下した際、自分の生活体験を生かしたりしながら対応の方法を考えている。「飼育物」としてではなく「クラスの仲間」と捉え、一生懸命に関わり、「殻がわれた」ではなく「けがをした」という言葉を選んでいることから、大切な仲間であるカタツムリを通して思いやりや優しさを育てていることがわかる。

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。友達と考えを出し合って活動を進める。

「先生！アサガオのつぼみ、見て！」「私のは、五つも出てるよ」と、登校後すぐに、自分の鉢に水やりをしていた一年生が報告に来ます。身近な動植物と関わる中で、様々な事に気付き、表現する活動を生活科で行います。友達とともに、成長を願い、次に何をしてあげようかと考えています。幼児期から身近な命に関わり、大切に育てる経験を積み重ねることが、思いやりにつながります。

生活科で、一人一鉢の植物を育て、季節に合わせて虫取りに出かけます。理科では学習内容に合わせて動植物を育てていきます。学級独自に「カナヘビを飼いたい」と担任に申し出た子供たちがありました。生き物を育てることを通して、互いに工夫し協力し、仲間との結束力が高まったと感じています。



小学校関係者からの声

梅雨の季節や外の気温の高い日は、室内で過ごすことが多くなる。折り紙を入れてある棚から思い思いの色紙を選び、好きなものを作る子が増えてきた。

下 線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

今までは、保育者が折り方を知らせ、一緒に進めていくことが多かったが、最近では自分たちで折り方を調べるようになってきた。①園では友達から刺激を受けて、家ではあまり折ることのないような作品にも挑戦している。そこで、「折り方絵本」を棚の近くに数冊出しておいた。



②子供たちは、パラパラっとページをめくって気に入ったところを開いて絵や文字を見ながら折っている。

一人が始めると、折り紙コーナーに次第に仲間が集まってくる。③難しいところを友達に教えてもらったり「こうするんだよ」と教えたりする会話が聞こえてくる。

中には、途中で諦めてしまう子もいる。諦めて折りかけの折り紙が放ってあるのを見ると、自分の課題を解決できるようになってほしいと思う。

諦めず、自分の力で完成する経験をしてほしい…。

元々折り紙が好きな子は、自分からどんどん作っていくが、あまり得意でない子や興味がない子もいる。

「作りたいものを見付け、作り方を見ながら折っていく」という「折り紙の制作活動」を皆で一緒に行ってみよう。自分で作り方の絵(または絵本)を見たり、友達に相談したりしながら折り上げていく活動を投げかけてみよう。



④自分だけでなく、周りの友達も一緒に相談しながら折り、出来上がったものを見て、⑤「次はこれをつくろう」など、声をかけ合っていた。⑥自信のある笑顔、やり遂げた満足感を感じている様子が見られた。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

①自由に切ったり折ったりして作り上げる制作とは違う「折り紙」の技法は、作り上げる達成感を味わい、諦めずにやり遂げることで自信をもつことができる。

【自立心】【思考力の芽生え】

②折りたいという気持ちから、図示されたやり方を友達と相談しながらあれこれやってみている。必要だから書いてあることを理解したいという真剣なまなざしである。

【思考力の芽生え】【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

③完成させるといった目的に向かって考えたり、工夫したり、協力したりしている。

【協同性】

途中で諦めてしまう子にも、最後まで頑張って成し遂げる充実感を味わってほしい。課題に向かって乗り越えていく力が育つ機会を作りたい。



保育者の  
願い・働きかけ

④絵本では分かりにくい折り方のコツを友達の言葉で聞くとよく分かるようで、注意して聞こうとしている。自分でやり遂げようという気持ちが途切れずに続いている。

⑤出来上がると自信がつく。そして次の作品へのチャレンジにつながっている。

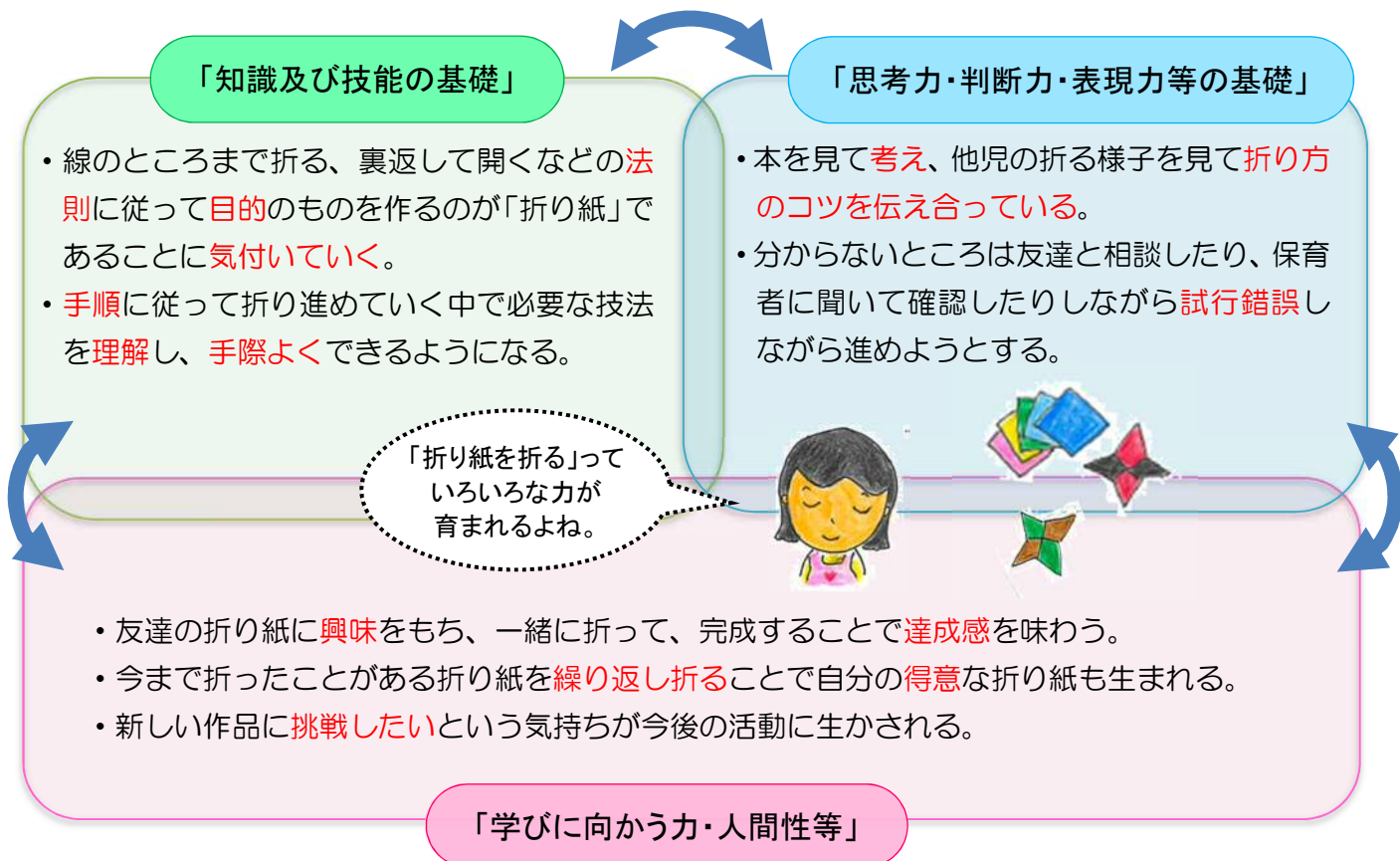
⑥経験を重ね、繰り返す中で上達していく。学びへの意欲につながっている。

【自立心】【協同性】【思考力の芽生え】

【言葉による伝え合い】



◆三つの資質・能力の視点から捉えると…




◆一体的に育まれるとは

● 安定して過ごせる仲間の中で興味や関心を共有し、**今までに折った作品だけでなく、新しいものにも挑戦してみたいという思い**で折り紙制作に取り組んでいた。難しい部分では途中で諦めてしまうことも今までにはあったが、**仲間と目的の共有**をすることで粘り強く取り組む気持ちをもてるようになってきた。教え合ったり伝え合ったりする際には、**相手が分かるように考えて、言葉で表現しようとしている**。気に入ったものを折りあげたい**気持ちの強さから、友達と教え合いながら規則性や法則性を見付けて、折り方図を理解しようとする気持ち**になっている。

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- いろいろな紙を使って遊ぶ楽しさを味わう。
- 折り紙の美しさや、魅力を感じて、切ったり、折ったり、貼ったりして自由に何かを作って楽しむ。
- 一枚の紙（あるいは指定の数枚の場合もある）から、折るだけで作品を作る方法があることが分かり、作ってもらったり、自分で作ったりして遊ぶ。



5月のある日、浮かない気分だったA児に保育者はA児の好みそうな塗り絵遊びを提案した。クラス内では既に塗り絵遊びが好まれて楽しむ姿が多かった。

下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

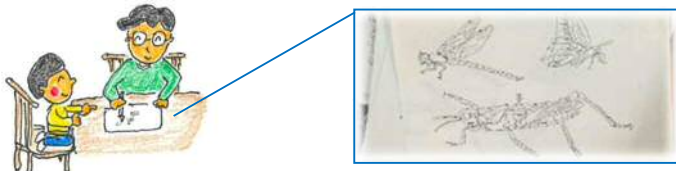
- ・色彩表現を広げられる題材の絵
- ・技巧性や集中力に配慮した素材 を提供してみよう

①A児は塗り絵遊びを喜び、集中して取り組んだ。自分の世界を広げ、②友達と関わり、遊びの時間を楽しむようになった（色の選び方や塗り方、自分の好きなものを伝え合ったりして、おしゃべりも楽しみながら遊んでいる）。そんなA児の様子に刺激を受け、他児の関心も広がっていった。

③B児が家庭でお気に入りのイラストで写し絵をして持ってきた。友達と一緒に塗るために「コピーをしてみんなの塗り絵にしたい」と求める。サークルタイムで皆に紹介すると共に、塗り絵遊びコーナーに置くことにする。



④B児の発想から「私も、僕も」と、塗り絵にしたい写し絵を持ってくる子が増えてきた。絵本の気に入ったページを写す子、図鑑を写す子、『虫』や『恐竜』など、塗り絵のバリエーションが増える。このブームは子供から家庭にも伝わり、写実的な絵を仕上げ、子供に持たせてくださる保護者の方も出てくる。



保育者は『塗り絵屋さん』を提案し、子供とともに⑤相談し始めた。

～並行した4歳児の動きとして～

5歳児の経過とは別に「塗り絵をしたい」との声から準備をする。両クラスの遊びの様子を知る保育者が5歳児の展開を伝え、協力し合えないか提案する。

イーゼルに吊るし大勢の通り道になる廊下に“塗り絵屋さん開店！”日々商品が変わり、種類が増えたり、変化がなかったり、売り切れのままだったり、売れ残りがあったり。

⑥他学年の子も、お家の人も巻き込んで協力を得た“塗り絵屋さん”の遊びは、この後も継続し、8月の夏祭りにも出店した。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り



保育者の働きかけ

①A児は「塗り絵」で気持ちを癒しながら楽しんでいる。②一緒に塗り絵をしながら友達との関わりも楽しんでいる。

【健康な心と体】【言葉による伝え合い】【豊かな感性と表現】

③“みんなで楽しむにはどうしたらいい？”B児は仲間と一緒に喜びを分かち合い、友達同士で表現する過程を楽しもうとしている。

【思考力の芽生え】【協同性】

④生き物への興味を反映させ表現へと展開させている。

【自然との関わり・生命尊重】【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】【豊かな感性と表現】

塗り絵屋さんをしよう！



保育者の働きかけ

4歳5歳で一緒にしない？



⑤共通の目的をもって活動し始めた。  
⑥クラスの枠を超え、年下児との関わりを楽しもうとしている。大人たちの協力を活用し、情報を取り入れている。

【協同性】【思考力の芽生え】【社会生活との関わり】

◆三つの資質・能力の視点から捉えると…

「知識及び技能の基礎」

- 枠内に塗る緻密な作業を楽しむことが指先の**必要な技能の獲得**につながる。
- 友達と一緒に楽しむには同じ塗り絵を増やすことが必要だと**気付く**。
- 好きな絵を写し絵すれば塗り絵遊びとして活用できるという**関連性を発見**。

「思考力・判断力・表現力等の基礎」

- どうしたら私の描きたい「絵」を手に入れられるのか、の思いから**工夫**を始めている。
- 好きな絵を塗り絵するために写し絵をする、という**新しい考えを生み出した**。
- 友達と一緒に活動することで、**表現する喜び**を味わっている。

個々の活動だった「塗り絵」が何人かの「ごっこ」の活動に膨らんで共通の目的に。

- 夢中で「楽しむ」ことから塗り絵素材に対する**興味**を広げ、**探究心**をもって取り組んでいる。
- 友達と一緒にだと面白い、その面白さを分かち合いたいと感じ、**協力**し、塗り絵屋さんという**目的の共有**をしている。

「学びに向かう力・人間性等」

◆一体的に育まれるとは

- 自分が楽しいと思ったことを友達にも薦めたいという「共感」の思いを求め、その実現のために保育者に提案したり交渉したりしている。また塗り絵に熱中し、没頭する子供の姿は保護者への刺激となり、熱意が伝わって、大人ならではの巧緻性の高い塗り絵が提供された。子供の熱中した遊びが架け橋となって園との連携が生み出されていく。目的を共有しようとする仲間たちの気持ちが一つになって、大人も子供も自分なりの表現を工夫し楽しんでいて、遊びが充実していく。さらに年下児も巻き込んでの「塗り絵屋さん」という新たな遊びも展開され、意欲をもって活動が進められている。繰り返し塗り絵をしたり下絵を作ったりする中で、対象をよく見て描く、丁寧に細かく塗る、塗り分けの配色を考えるなど、表現する喜びも経験している。



イーゼルに吊るし大勢の通り道になる廊下に“塗り絵屋さん開店！”

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 好きな絵を描いたり、様々な描画材に触れたりする活動を楽しむ。
- 友達と話し合っ活動を進める面白さを味わう。
- 年下児のお世話や当番活動などを通して、また家庭や地域との交流活動などから自分たちの周りには様々な人がいることを知っている。



下線 保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

船を作りたいという声上がり、テラスのビニールプール近くに船づくり用の制作コーナーを整えておいた。

①牛乳パックを選び、船を作り始めるA児、ペットボトルを手に取りビニールテープで装飾をするB児、発泡トレイを使って「金色にしよう」と金色紙を巻いて浮かべる子供もいた。空き箱を組み合わせて作ったC児の船は紙がふやけて壊れた。その様子に保育者が「どうしてこの船は壊れちゃったのかな？」とつぶやくと、②「箱は紙だから弱いんじゃない？」とA児。③C児が「じゃあ、なんで、Bちゃんの船は壊れないの？」と尋ねると、④B児は「牛乳パックもペットボトルも飲み物が入っているから強いんだよ」と答えた。



⑤「あっ、そっか」と納得したC児は、ペットボトルで新しく作り始めた。他の子供たちもそれぞれの船が出来上がると浮かべて、⑥友達の船を見て「おっ、ここ、かっこいいじゃん」と褒めたり、自分の船の工夫(ヨットのような帆や船の名前を書いた旗など)を見せて比べたりした。そのうち、⑦水の中に手を入れ動かしたりペットボトルに入れた水を流し込んだりして、浮かべた船を動かすことに関心が集まった。

片付け後に皆が集まった場で、保育者はそれぞれの船を紹介してもらい、船を動かそうと試行錯誤していた様子から保育室にある材料を使って動かせる方法はないか考えてみようとして投げかけた。⑧「扇風機を使う」「ストローで息を吹きかける」という風力を思い付く子供。⑨「紐をつけて引っ張る」という考えが出て「どんな紐？」と保育者が紙テープとPE(ポリエチレン)テープを見せると「紙は弱いからこっちだよ」とPEテープを指すC児。⑩「前にお父さんとお風呂で作ったことがあるんだけど、プロペラを作って輪ゴムをひっかけると動くよ」という意見が出ると「輪ゴムで引っ張ってばちんと船に当てて動かすのはどう？」「それいいね」「弓矢みたいだね」「ペットボトルのキャップで輪ゴムをひっかけるといいんじゃない？」と様々な考えが出て、食後にいろいろ試してみるようになった。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

①それぞれに、船の土台や装飾の材料を自分で選び、自分のイメージで船を作っている。船の土台ができると浮かべて試している。

【自立心】【思考力の芽生え】【豊かな感性と表現】

②A児は壊れた原因を空き箱が紙の材質だからと捉えている。③C児は「箱は紙だから弱い」と聞き、紙のように見える牛乳パックが壊れないことに疑問を抱き、尋ねて知ろうとしている。④B児は牛乳パックやペットボトルは(液体の)飲み物が入っているから(水に)強いという自分なりの考えを伝えている。

【協同性】【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】

⑤C児は友達の言葉から、ものの材質と水との関係(情報)を関連付けて分かり、確かめた上で新しい素材で作ろうとしている。

⑥友達の船を見て認めたり自分の工夫を伝えたりしている。⑦浮かぶ船ができたことで、動かすことに関心が向き、水の中に手を入れ動かしたり、水を流し込んだりするなど、友達の動きをまねたり新たな方法を試したりしている。

【自立心】【協同性】【自然との関わり・生命尊重】【社会生活との関わり】【思考力の芽生え】【豊かな感性と表現】

共通の場で、船を動かすために使えるものを考え、いろいろな意見を引き出している。



保育者の働きかけ

⑧風力を考えたり紐をつけて動かす方法を思い付いたりして自分なりに考え発言している。

⑨C児は先の経験から船を引っ張る紐の材質を紙ではなく、より強い素材を選ぶ。

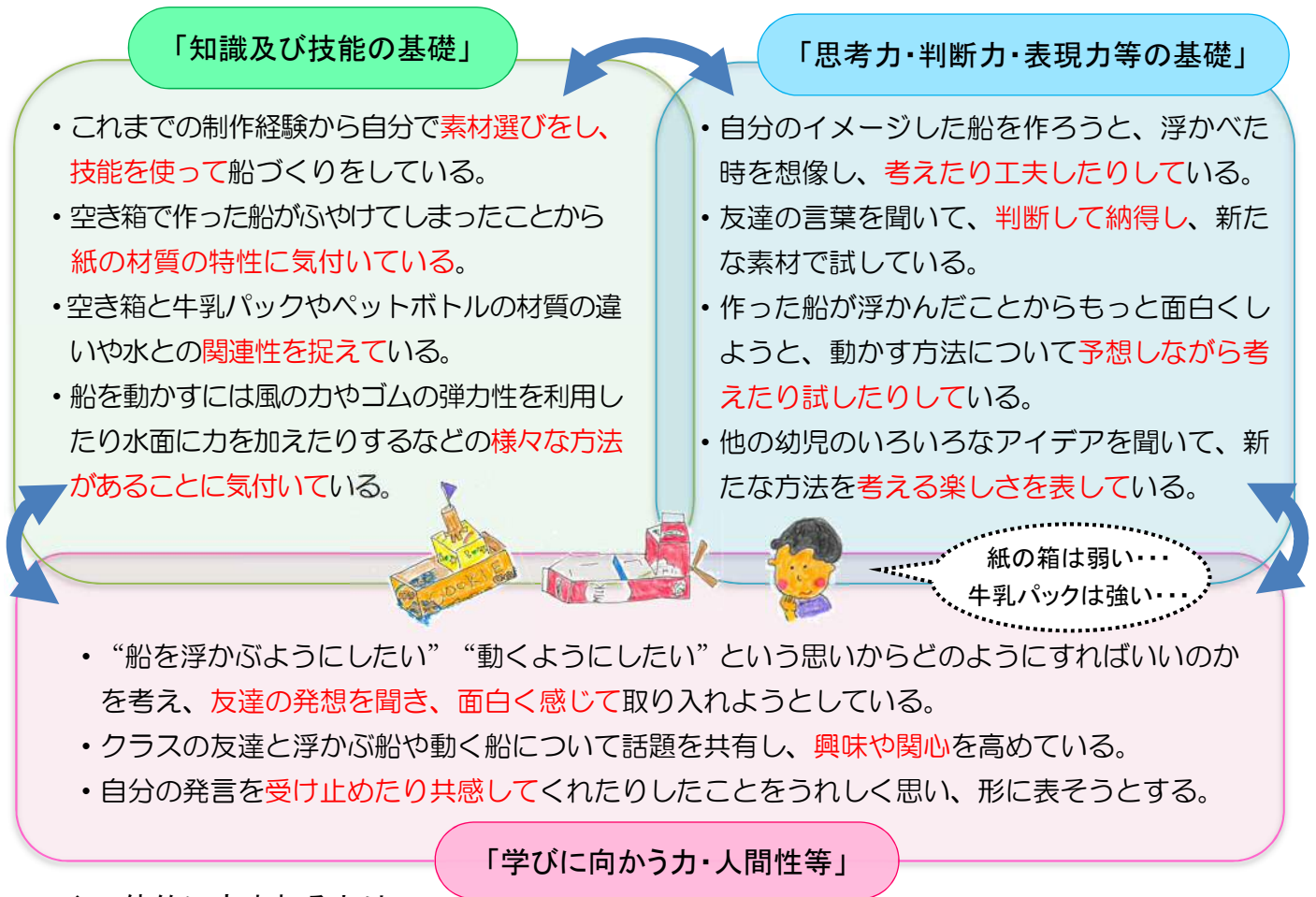
⑩輪ゴムの弾力性を生かして動かす方法を聞いてイメージし、そのアイデアに賛同し、心を動かしている。



面白そう やってみたい!

【自立心】【協同性】【社会生活との関わり】【思考力の芽生え】【豊かな感性と表現】

◆三つの資質・能力の視点から捉えると…



◆一体的に育まれるとは

- 船を作りたい思いから**ふさわしい素材を選んで作り、実際に浮かべてみたこと**からいろいろな**気づきや発見があった**。遊ぶ中での**気づきからさらに考えたり工夫したり表現したりして浮かべることから動かすことへと興味・関心は広がっていった**。その基には、船作りや船を動かすことに面白さを感じて**様々な方法やアイデアを考え、伝え合い、繰り返し一緒にやってみようとする友達がいたからである**。互いに**刺激を受けてさらに新たな考えを生み出す喜びを感じ合っていた**。

◎年長児になるまでに積み重ねてきた経験として…

- 身近にあるものを使って自分の思いやイメージを自分なりに表現する。
- 友達に自分の気づきや考えを伝えたり、友達の思いを受け止めたりして遊ぶ。
- 保育者や友達の言葉から自分の体験と結びつけて考えたり、実現したいことのヒントをもらったり助けてもらったりして、自分なりにできた喜びを味わう。

二年生の生活科では、「うごくおもちゃ作り」があります。「うまく動かないなあ」「〇〇君のは、どうやって動いているんだろう」と試行錯誤しながら遊ぶ姿は、とても微笑ましい場面です。幼児期の、興味のあることに夢中になって遊ぶ中で気付いたことや考えたことを伝え合い行動に移す経験が、このような学習に生かされていきます。





### 幼児教育・義務教育関係の方へ ～あんな先生になりたい～

小学校教員として新規採用になったとき、隣のクラスの先生はいつも笑っていました。また、その子供たちは授業にも日常生活にも、いきいきと過ごしていました。新採の私にとって、その様子はとても真似ることができないものであり、何か魔法のような手立てがあるのではと思っていました。この度、この事例集の作成に携わり、保育者の笑顔といきいきとした子供たちの姿に紙面を通して触れた時、この新採時代の記憶がよみがえってきました。

さて、この事例集から何が読み取れるかということをつつ考えます。

一つ目は、園児が発する「言葉」の多様さです。事例の中には、擬音語、擬人語、感嘆符を使った様々な言葉が発せられています。こうした豊かで素朴な言葉は、やがて科学的なものの見方や考え方につながっていきます。保育者がこうした子供の言葉を丁寧に受け止め、共感し、価値付けていることが読み取れます。

二つ目は、関わりの存在です。どの事例からも、自分の思いや気付きを受け止めてくれる友達、そして保育者の存在が読み取れます。そして、友達や保育者との関わりの中で、幼児期の終わりまでに育てほしい姿（10の姿）の「言葉による伝え合い」が行われ、個々の認識が磨き上げられています。

三つ目は、保育者の意図的な働きかけ、言葉かけがしっかりされていることです。事例に出てくる子供たちの認識の成長は、「幼児期において育みたい資質・能力」をしっかりと踏まえた「環境」の構成や、「時」を逃がさない保育者の働きかけ、言葉かけによって生まれ、引き出されています。

保育者が笑顔でいて、子供たちのいきいきとした姿を引き出すのは、魔法でも何でもなく、保育者としての専門的知識と子供に寄り添った経験の積み重ねの中で誰もが得ていくことのできる指導力だと思います。本事例集には、その手立てがたくさんちりばめられていると思います。



### 保育関係者の皆さんへ・・・

今回は、幼稚園・保育所・認定こども園で年齢に応じた、発達に応じた、ふさわしい意味のある生活経験を重ねてきた5歳児の事例をまとめました。遊びや生活の中で培われていく資質や能力に着目して具体的に振り返り、子供のしていることに潜んでいる意味や価値を捉え、整理したものです。これらの事例で取り上げられた場面は決して特別なものではなく、それぞれの園の日常の中で、具体的に一体的に展開された活動や遊びです。

幼児期の終わりまでに育てほしい姿の10項目にあてはめるのではなく、保育者の目に留まった価値のある事例として自由に記録し、書き留めた中から保育を振り返り、保育の基本に基づいて子供にとって大切なことを見逃さないように考察してまとめたものです。

愛知県内の園の事情や状況は多様ではありますが、目の前の子供を見つめ、理解し、育てほしいという願いを込めて子供と共に過ごしている保育者の志は一つだと思います。

人生のスタートとしての園生活を充実して過ごし、小学校へと巣立っていく子供たち…。どの子供も幸せに、戸惑うことなく次のスタートへと進んでほしいと切に願います。

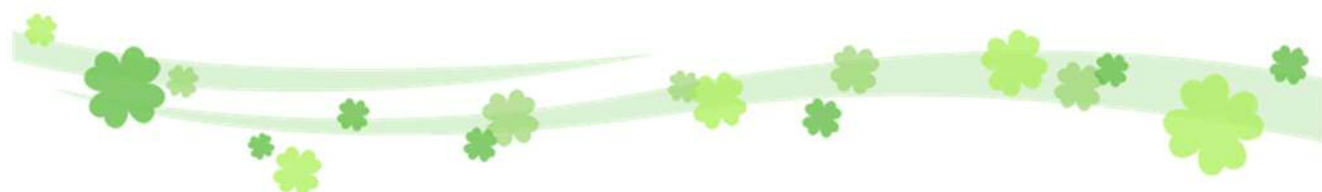
◆ 愛知県幼児教育研究協議会のあゆみ

年度	経	過
昭47 48	・協議会の設置 ・「幼児教育の指針」の作成	
49	・協議題 4・5歳児の教育(保育)内容を中心に	(答申)
50 51	・協議題 幼児教育と小学校教育のあり方とその連携	(中間報告) (答申)
52	・協議題 今後における幼稚園と保育所の関係について	(報告)
53 54	・協議題 幼・保の教育(保育)と家庭教育との連携 ・協議題 幼稚園・保育所と家庭との連携	(中間報告) (報告)
55 56	・協議題 幼児教育の充実をめざす指導の在り方	(中間報告) (報告)
57 58	・協議題 幼児教育に関する今日的課題	(中間報告) (報告)
59	・協議題 幼児の生活実態とその問題点	(報告)
60	・協議題 幼稚園・保育所における望ましいしつけの在り方	(報告)
61	・協議題 家庭の教育力回復のために幼児教育機関の果たす役割	(報告)
62	・協議題 幼児教育のための保育者の資質向上の在り方 ・現職教育資料「保育者としてこれだけは」	(報告) (発刊)
63 平成	・協議題 人とのかかわりをもつ力の育成 〃 ・現職教育資料「人とのかかわりをもつ力の育成」	(中間報告) (報告) (発刊)
2 3	・協議題 自然との触れ合いや身近な環境とのかかわり合いについて 〃 ・現職教育資料「自然との触れ合いや身近な環境とのかかわり合いを持つ力を育てる」	(中間報告) (報告) (発刊)
4 5 6	・協議題 基本的な生活行動を主体的に身に付けるために 〃 〃 ・現職教育資料「基本的な生活行動を主体的に身に付けるために」	(実態調査) (中間報告) (報告) (発刊)
7 8 9	・協議題 一人一人の幼児の特性や発達の課題に応じた教育・保育の在り方 〃 〃 ・現職教育資料「わたしたちの園にふさわしい教育課程・保育計画」	(実態調査) (中間報告) (報告) (発刊)
10 11 12	・協議題 心豊かな幼児の育成をめざして 〃 〃 ・現職教育資料「保育のポイント Q&A50」	(実態調査) (中間報告) (報告) (発刊)
13 14	・協議題 幼児の心を豊かにする幼稚園・保育所と家庭との連携のあり方	(実態調査) (報告)
15 16	・協議題 子どもたちのすこやかな育ちを支える幼稚園・保育所と小学校の連携の在り方	(実態調査) (報告)
17 18	・協議題 幼児期における心の教育 －「命」を感じる教育を考える－	(実態調査) (報告)
19 20	・協議題 協同的な活動を通して、幼児期の「遊び・学び・育ち」を考える	(実態調査) (報告)
21 22	・協議題 子どもや社会の変化に対応した教育課程・保育課程 －伝え合う力や規範意識の芽生えを培う体験を重視して－	(実態調査) (報告)
23	・協議題 愛知県のこれからの幼児教育の在り方を考える －幼児教育の指針の策定に向けて－	(報告)
24 25	・協議題 小学校教育を見通した幼児期の教育を考える －接続期における教育課程・保育課程の編成に向けて－	(中間報告) (報告)
26 27	・協議題 幼児教育の充実に向けた保育者の資質と専門性の向上について	(中間報告) (報告)
28 29	・協議題 生涯にわたる学びを支える幼児教育の在り方 －幼児期における「学びに向かう力」の育成を通して－	(中間報告) (報告)
30	・協議題 幼児期の育ちを支える幼稚園・保育所・認定こども園と家庭との連携の在り方 について－「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりにして－	(報告)
令元	・協議題 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながる学びの芽を捉える －「自然との関わり・生命尊重」の姿に視点を当てて－	(報告)
2 3	・協議題 幼児期の教育における一体的に育まれる資質・能力とは －子供の具体的な遊びや生活の姿から考える－	(中間報告) (報告)

## ◆令和2・3年度 愛知県幼児教育研究協議会 委員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	職 名 (就任当時の職名を記載)	年度	
会 長	津金美智子	名古屋学芸大学教授	2	3
副会長	鈴木 照美	椋山女学園大学講師	2	3
委 員	滝 誠	犬山市教育委員会教育長	2	
委 員	山本 浩司	豊田市教育委員会教育長		3
委 員	藤好三知雄	名古屋市教育委員会指導部指導室 室長	2	3
委 員	永井 悦子	名古屋市子ども青少年局保育部 主幹	2	3
委 員	松永 直久	知立市福祉子ども部子ども課 課長	2	
委 員	近藤 克好	知立市福祉子ども部子ども課 課長		3
委 員	石川 治代	愛知県国公立幼稚園・こども園長会 会長 (刈谷市立かりがね幼児園長)	2	
委 員	竹内 由紀	愛知県国公立幼稚園・こども園長会 会長 (半田市立成岩幼稚園長)		3
委 員	水越 省三	愛知県私立幼稚園連盟 副会長 (葵名和幼稚園長)	2	3
委 員	伊東 世光	愛知県社会福祉協議会保育部会 部会長 (名古屋市 天使保育園長)	2	3
委 員	宇都宮美智子	名古屋民間保育園連盟 副会長 (名古屋市 中村保育園長)	2	3
委 員	渡辺 孝雄	稲沢市立稲沢東小学校長	2	
委 員	伊藤 勝治	江南市立古知野西小学校長		3
委 員	神谷 吾一	愛知県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 会長 (名古屋市立第一幼稚園)	2	
委 員	佐藤 伸哉	愛知県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 会長 (名古屋市立第一幼稚園)		3
委 員	濱地 佑佳	愛知県私立幼稚園PTA連合協議会 会長 (R2.6総会~R3.6総会) (栄光八事幼稚園)	2	
委 員	武田 歩美	愛知県私立幼稚園PTA連合協議会 会長 (R3.6総会~R4.6総会) (愛知学泉大学附属幼稚園)		3
委 員	加藤 望美	一宮市立北方西保育園保護者の会 会長	2	
委 員	小澤 宏美	一宮市立千秋北保育園保護者の会 会長		3
委 員	山口智絵子	愛知県福祉局子育て支援課 課長	2	3
委 員	久保見 順	愛知県県民文化局県民生活部学事振興課私学振興室 室長	2	
委 員	藤井 徹	愛知県県民文化局県民生活部学事振興課私学振興室 室長		3





## ◆令和2・3年度 愛知県幼児教育研究協議会 専門部会委員名簿

(敬称略)

役職	氏名	職名(就任当時の職名を記載)	年度	
部会長	鈴木 照美	椋山女学園大学講師	2	3
専門部会委員	和田 直子	岡崎女子大学講師	2	
専門部会委員	栗木 節子	修文大学短期大学部准教授		3
専門部会委員	大主 香	名古屋市立大幸幼稚園長	2	
専門部会委員	池田 紀代美	名古屋市立第一幼稚園長		3
専門部会委員	小川 由美子	小牧市立第一幼稚園長	2	
専門部会委員	福庭 千晶	知多市立梅が丘幼稚園長		3
専門部会委員	成瀬 明美	豊田市立野見こども園長(R2)・豊田市立トヨタこども園長(R3)	2	3
専門部会委員	大谷 喜久子	愛知県私立幼稚園連盟常任理事(みちる幼稚園長)	2	3
専門部会委員	熊澤 嘉乃	小牧市立藤島保育園長(R2)・小牧市立三ツ淵保育園長(R3)	2	3
専門部会委員	加藤 和子	豊田市子ども部保育課 指導主事	2	
専門部会委員	鈴木 晴美	岡崎市立梅園こども園長		3
専門部会委員	南部 紀子	かわさき保育園長	2	
専門部会委員	阿部 良子	レイモンド庄中保育園長		3
専門部会委員	真山 恵	半田市立乙川東小学校長	2	
専門部会委員	本多 宣子	幸田町立豊坂小学校長	2	
専門部会委員	加藤 まゆみ	稲沢市立大里西小学校長		3
専門部会委員	上田 富喜子	西尾市立花ノ木小学校長		3
専門部会委員	大曲 章治	愛知県福祉局子育て支援課 課長補佐	2	3
専門部会委員	加藤 智和	愛知県教育委員会生涯学習課 社会教育主事	2	
専門部会委員	天野 拓夫	愛知県教育委員会生涯学習課 主席社会教育主事		3

## ◆令和2・3年度 愛知県幼児教育研究協議会 事務局名簿(愛知県教育委員会)

氏名	職名	年度	
小林 整次	愛知県教育委員会学習教育部 部長	2	
小島 寿文	愛知県教育委員会学習教育部 部長		3
伊藤 孝明	愛知県教育委員会義務教育課 課長	2	3
大谷 健二	愛知県教育委員会義務教育課 担当課長	2	
井手 史朗	愛知県教育委員会義務教育課 担当課長		3
福井有希子	愛知県教育委員会義務教育課 課長補佐	2	3
山上 高弘	愛知県教育委員会義務教育課 課長補佐	2	
野田 隆之	愛知県教育委員会義務教育課 主査(R2)・課長補佐(R3)	2	3
深津 伸夫	愛知県教育委員会義務教育課 主査		3
福庭 千晶	愛知県教育委員会義務教育課 主査	2	
鈴木 清子	愛知県教育委員会義務教育課 主査		3
服部 みさ	愛知県教育委員会義務教育課 指導主事	2	3
鎌谷 祥行	愛知県教育委員会特別支援教育課 主査	2	3
松川 文香	愛知県総合教育センター基本研修室 主査	2	3

令和3年度 報告  
「幼児期の教育における一体的に育まれる資質・能力とは」  
子供の具体的な遊びや生活の姿から考える  
事例集

令和4年3月発行  
愛知県幼児教育研究協議会  
愛知県教育委員会  
(事務局)

愛知県教育委員会義務教育課  
〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 052(954)6799 (ダイヤルイン)